

令和二年新春の展示

かのえね

庚子

藤岡家所蔵の子年の資料

一月七日(火)より三月二十二日(日)



登録有形文化財「藤岡家住宅」



〒637-0016 奈良県五條市近内町 526

電話とFAX0747 (22) 4013

info@uchinono-yakata.com <http://www.uchinono-yakata.com>

9時～16時 月曜休館。月曜が祝日の時は開館して翌日休館

大人300円／小中学生200円 20名様以上で2割引

庚子 (かのえね)

～ 藤岡家所蔵の子年の資料～

令和2年1月7日(火)から3月22日まで
登録有形文化財「藤岡家住宅」・NPO法人うらのの館(やかた)

〒637-0016 奈良県五條市近内町526 電話とFAX0747(22)4013

info@uchinono-yakata.com <http://www.uchinono-yakata.com>

月曜休館(月曜が祝日のときは開館して翌日休館) 9時～16時

維持管理ご協力金 高校生以上300円・小中学生200円 20名様以上2割引

ご見学のほか、お食事会、俳句会、会議、お茶会などにご利用下さい。

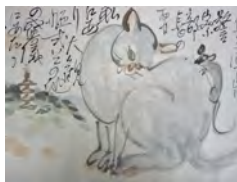
藤岡玉骨(本名 長和)は、明治21年戊子年5月13日生まれのため子年の資料が多く残されています。



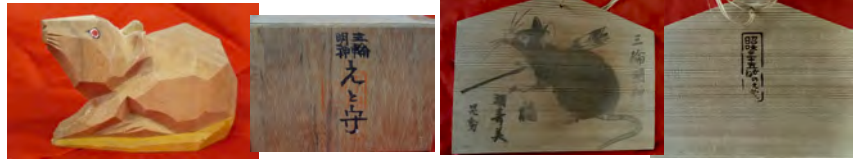
臍見焼陶硯(ほぞみやき とうけん)「鼠」
臍見焼は、奈良県天理市長良の伝統工芸品
陶硯は昭和33年、藤岡玉骨の古希の祝いに贈られたもの。
玉骨が子年生まれであるため、ネズミの形に焼かれた。
墨には「玉骨」と彫られている。



「活動鼠 紙製」西澤笛畝画
「うなみの友」第七編
(大正6年・1917年5月5日発行)



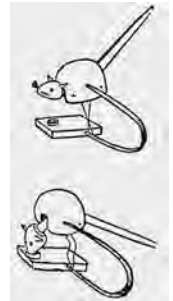
「玉骨俳宗出世の図」(部分)
(昭和8年)永井瓢齋画
ねずみ年の玉骨を鼠、うた代夫人を猫に例えて描いている。玉骨が佐賀県知事に就任した際の祝いに贈られたもの。



大神神社干支守 昭和35年(1960年) 大神神社絵馬昭和35年
子年 中西弘聲作 (1960年)三輪晃勢画



「米喰い鼠」石川県 郷土玩具
胴と台を結ぶ竹バネを握ったり放したりすると、ピョコピョコと首と尾を動かし、生きている鼠が米を食べるような動作をする。



『JAPAN DAY BY DAY』大正6年・1917年/2015年復刻版。絵は明治10年、11年、12年、15年に日本を訪れたアメリカの動物学者E. S. モース自身の書いた「米喰い鼠」。「鼠は、皿から物を喰い、同時に尻尾を下げる。横にある竹のバネは下の台から来ている糸によって、鼠に頭と尾とを持ち上げた姿をとらせているがバネを押す瞬間は糸がゆるみ、頭と尾が下がり、そして頭は皿を現す小さな竹の輪の中へ入る。」(モース自身による解説文)

藤岡家の梅は3月が見頃です。おひなさまは2月中旬より飾ります。

